

## DR-735の色設定について

本機の液晶は細かなカスタマイズができる分、思い通りに色を表示させるには複数の操作が必要になります。以下、例を上げてステップバイステップでご説明します。

### 【お願い】

色設定を手動で行うには動作に関する理解と慣れが必要です。これらを試すには、オールリセット（説明書P. 70、MW, ★、H/Lキーをすべて押しながら電源を入れる）をして、初期状態から操作されることをおすすめします。このため、この操作練習は他の運用設定をする前に行ってください。

### 【リセットについて】説明書P. 70

色の設定をしてから「消したい、戻したい」が思うようにできないと面倒ですので、先にリセットとレストア機能についてご説明します。

1. ノーマルリセット：セットモードの値がリセットされるので、色の関連付けも、カラーメモリーチャンネルも消えます。但し、リセット前にメモリーチャンネルに色を登録していた場合、セットモードのメニュー番号9カラーモード切り替えを **MEMORY** に戻すと、リセット前に登録していたメモリーチャンネルはリセット前の色が使えます。
2. VFOリセット：トーンやパワー、シフト設定だけをリセットするので、色の関連付けやRGBカラー設定は残ります。
3. メモリーリセット：メモリーチャンネル自体が消えるので、メモリーチャンネルごとに設定した色データもすべてなくなります。但しリセット前にセットモードのメニュー番号9～12で設定したカラーモード切り替え、SB, RX, TXの色指定は残っているので、新たに書くメモリーは以前にカスタマイズした色の状態で登録できます。
4. オールリセット：すべての設定が初期化されます。レストア機能（P. 47）を使っていなければ、色設定を修復することはできません。メモリーチャンネルも消えてしまいます。

### 【レストア機能について】

好みの色状態になったとき、P. 47のレストア機能でセーブしておく、部分的にですがリセット後でも色関連設定を修復することができる場合があります。ただ条件が多岐に及ぶ事、それを表にしてもとても見づらくなることから敢えて省略させていただきます。以下のテストパターン登録後、レストア操作をして自分で確かめてください。色状態を無条件に修復する機能や操作はありません。

パターン1：VFOモードでもメモリーモードでも、周波数帯も関係なく、右と左の表示色は常に決めた色を使う。

【色の例】

- ・右の待ち受けCL1レッド、左の待ち受けCL2グリーン
- ・右の受信CL4イエロー、左の受信CL3ブルー
- ・右の送信CL6ライトブルー、左の送信CL5パープル

【レストア】照明色切り替え（セットモード番号10～12）は修復されますが、カラーメモリーチャンネルCL0～CL9は初期値の色、CLA～CLFはホワイトに戻ります。P. 61のRGBカラー設定を参考にカラーメモリーチャンネルを新たな色に調光すれば、それが新たに反映されます。

【操作】

FUNCキーを長押しして、セットモードに入る。説明書P. 41を参照してメニュー番号09が出るまで右や左のダイヤルを押す。CLMODEが表示されたら右ダイヤルを回してALLを選ぶ。（以下P\*\*は説明書のページ数）



① 右側ダイヤルを押すとP. 41のメニュー10状態になる。右側ダイヤルでSB CL1レッド、左側ダイヤルでSB CL2グリーンを選ぶ。



② 右側ダイヤルを押すとP. 42のメニュー11状態になる。左側ダイヤルでRX CL3ブルー、右側ダイヤルでRX CL4イエローを選ぶ。



③ 右側ダイヤルを押すと同じくメニュー12状態になる。左側ダイヤルでTX CL5パープル、右側ダイヤルでTX CL6ライトブルーを選ぶ。マイクのPTTを押し、設定を確定して、運用状態に戻る。



待ち受け



受信



左 送信



右 送信



#### 【参考】

スケルチを開放にすれば、受信時の色が確認できます。送信色を確認するにはPTTを押すので、アンテナをつないで試験電波を発射するか、ダミーロードをお使いください。

パターン2：VFOモードでもメモリーモードでも144MHz帯、430MHz帯、エアバンドは左右に関係なく決めた色を使う。

【色の例】

- ・144MHzの待ち受けCL1レッド、430MHzの待ち受けCL2グリーン、エアバンドの待ち受けCL3ブルー
- ・144MHzの受信CL4イエロー、430MHzの受信CL5パープル、エアバンドの受信CL6ライトブルー
- ・144MHzの送信CL7オレンジ、430MHzの送信CL8ピンク

【操作】

- ① VFOモードでボリュームつまみを長押しして、左右とも144MHz帯が表示される2波同時受信状態にする。



- ② FUNCキーを長押しして、セットモードに入る。メニュー番号09が出るまで右や左のダイヤルを押す。CLMODEが表示されたら右ダイヤルを回してMEMORYを選ぶ。



- ③ 右側ダイヤルを押してメニュー番号10にする。右側も左側もダイヤルを回してSB CL1レッドを選ぶ。



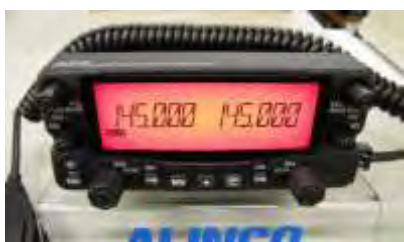
- ④ 右側ダイヤルを押してメニュー番号1 1にする。右側も左側もダイヤルを回してRX CL 4イエローを選ぶ。



- ⑤ 右側ダイヤルを押してメニュー番号1 2にする。右側も左側もダイヤルを回してTX CL 7オレンジを選ぶ。



マイクのPTTを押して設定を確定して、運用状態に戻る。表示は赤になっている。



- ⑥ 両方のボリュームツマミを長押しして、エアバンド帯の2波同時受信状態にする。



- ⑦ 上記②～⑤を繰り返し、色をそれぞれ左右ともSB CL 3ブルー、RX CL 6ライトブルーにする。



マイクのPTTを押し、設定を確定してVFOモードの運用状態に戻る。



⑧ ボリュームツマミを長押しして、430MHz帯の2波同時受信状態にする。



⑨ 上記②～⑤を繰り返し、色をそれぞれ左右ともSB CL2グリーン、RX CL5パープル、TX CL8ピンクにする。



マイクのPTTを押しして設定を確定して、VFOモードの運用状態に戻る。



VFOモードで左右を切り替え、好みの設定になったことを確認する。



【参考】この設定でメモリーを登録すれば表示の左右に関係なく、各周波数帯のメモリーチャンネルにこの色設定が反映されます。メモリーを使うので、レストア機能で修復できる色設定には制限が生じます。

=====

### パターン3：複数の共通メモリーチャンネルに異なる色を記憶させたあと、VFOモードの色も変更する。

#### 【設定の例】

- ・145.100、待ち受けCL1レッド、受信CL2グリーン、送信CL3ブルーをCH000にメモリー
- ・433.200、待ち受けCL4イエロー、受信CL5パープル、送信CL6ライトブルーをCH001にメモリー
- ・VFOの色設定を左右とも待ち受けCL7オレンジ、受信CL8ピンク、送信CL9ライトグリーンに変更（変更前はすべてCL0ホワイト）

#### 【操作】

- ① 左のVFOモードでダイヤルを回し、145.100に合わせる。145.100が表示される。



- ② FUNCキーを長押しして、セットモードに入る。右や左のダイヤルを押して、メニュー番号09を表示させる。CLMODEが表示されたら右ダイヤルを回してMEMORYを選ぶ。



- ③ マイクのPTTを押して、運用状態に戻る。FUNCキーを押して、メモリー番号が表示されたら145.100が出ている側のダイヤルを回して000を選び、同じ側のV/Mキーを押す。ビープ音が鳴って、000が消える。



- ④ どちらかのV/Mキーを押してメモリーモードに入り、000（c h）を呼び出す。



- ⑤ FUNCキーを長押ししてセットモードに入り、メニュー番号10が出るまでダイヤルを押して、000を表示させた側のダイヤルを回してSB CL1レッドを選ぶ。



- ⑥ 右側ダイヤルを押してメニュー番号11で、000を表示させた側のダイヤルを回してRX CL2を選ぶ。





- ⑥ 右側ダイヤルを押してメニュー番号12で、000を表示させた側のダイヤルを回してTX CL3を選ぶ。



- ⑦ マイクのPTTを押して設定を確定して、運用状態に戻る。000表示側（メモリーモード側）はレッドになっている。



- ⑧ FUNCキーを押し、メモリーモード側（000が出ている側）のダイヤルを押す。ビープ音が鳴る。（メモリー上書きをする）



- ⑨ メモリー番号が出ているほうのV/Mキーを押してVFOに戻る。表示はホワイト（CL0）に戻っていることを確認。



⑩ 右のVFOモードでダイヤルを回して433.200を表示させる。



⑪ FUNCキーを押して、メモリー番号が表示されたら433.200が出ている側のダイヤルを回して001を選び、同じ側のV/Mキーを押す。ビープ音が鳴って、001が消える。



⑫ どちらかのV/Mキーを押してメモリーモードに入り、001 (c h) を呼び出す。



⑬ FUNCキーを長押ししてセットモードに入り、ダイヤルを何回か押してメニュー番号10を表示させ、001が出ていたのと同じ側のダイヤルを回してSB CL4イエローを選ぶ。



- ⑭ 右側ダイヤルを押してメニュー番号11で、000を表示させた側のダイヤルを回してRX CL5パープルを選ぶ。



- ⑮ 右側ダイヤルを押してメニュー番号12で、000を表示させた側のダイヤルを回してTX CL6ライトブルーを選ぶ。



マイクのPTTを押して設定を確定して、運用状態に戻る。001表示側（メモリーモード側）はイエローになっている。



- ⑯ FUNCキーを押し、メモリーモード側（001が出ている側）のダイヤルを押す。ピープ音が鳴る。（メモリー上書きをする）



- ⑰ メモリー番号が出ているほうのV/Mキーを押してVFOに戻る。表示はホワイト（CL0）に戻っていることを確認。



この状態でメモリー運用したい側のV/Mキーを押すと、メモリー番号が表示されるので、000と001をダイヤルで切り替えて色が指定したように変化することを確認する。



- ⑱ メモリー側のV/Mキーを押して左右ともVFO状態にする（液晶色はCL0ホワイト）。FUNCキーを長押ししてセットモードに入り、ダイヤルを何回か押してメニュー番号10を表示させ、左右ともダイヤルを回してSB CL7オレンジを選ぶ。（もしこの時、左右で色を変えたければ、好みの色を選ぶ）



- ⑲ 右側ダイヤルを押して、メニュー番号11で左右ともダイヤルを回してRX CL8ピンクを選ぶ。（もしこの時、左右で色を変えたければ、好みの色を選ぶ）



- ⑳ 右側ダイヤルを押して、メニュー番号12で左右ともダイヤルを回してTX CL9  
ライトグリーンを選ぶ。(もしこの時、左右で色を変えたければ、好みの色を選ぶ)



マイクのPTTを押して設定を確定して、運用状態に戻る。待ち受け状態ならVFOモードは左右ともオレンジ色になっている。V/MキーでVFOモードとメモリーモードを切り替え、好みの状態になったことを確認する。



#### 【参考】

・上記3つのパターンをご理解いただければ、例えば自分で作ったCLAからCLFの色を使うようなアレンジができます。メモリーを使うので、レストア機能での修復には制限が生じます。

色設定は、ごらんのように複雑です。従い、お電話で登録の仕方をお問い合わせ頂いても、サポートはできません。この資料の無償郵送をもって説明に変えさせて頂いておりますので、予めご了承ください。

アルインコ（株）電子事業部

以上  
FNEI-EF